

ふくやま未来づくりビジョン 2019

～5つの挑戦の深化～

【実績まとめ】

新時代に向けた「3つの備え」を中心に、「5つの挑戦」を深化させることで、市民の皆様が安心・安全に暮らすことができ、子どもから高齢者までが魅力と誇りを感じる都市づくりを進めました。

1 頻発する自然災害への備え

決算額：4,778,675千円

【抜本的な浸水対策】

- （国）・芦田川の樹木伐採・河道内掘削の実施（2年目/3か年）
- （県）・手城川・福川の排水機整備の「大規模特定河川事業」への採択
- （市）・「福山市手城川流域における床上浸水被害解消プラン」の「100mm/h安心プラン」への登録

【ため池の安全対策の強化】

- ・ハザードマップなどによる周知
- ・防災重点ため池の再選定
- ・ため池の廃止・耐震化

【自助・共助を中心とした地域防災力の強化】

- ・全市一斉総合防災訓練の実施
- ・災害情報電話通報サービスの提供開始
- ・地域との意見交換会の開催
- ・自主防災組織の活動費などの一部助成



2 本格化する人口減少への備え

決算額：1,699,743千円

【推進体制の構築】

- ・市内企業などで構成する「みんなのライフスタイル応援会議」による人口減少対策の企画提案・実施



【市内企業とのマッチング強化】

- ・中小企業の社長の声を就活生に届ける「社長の声プロジェクト」の実施
- ・市内企業への就職を希望する学生への就職活動費支援

【福山ネウボラを中心とした子育て支援の充実】

- ・子ども医療費助成制度の助成対象を中学生まで拡充
- ・子育てパパ活躍ウィークの実施による男性の子育て参加促進



【新たな働き方の提案】

- ・ワーケーションふくやまのモデルケースの構築

【福山駅前の再生】

- ・福山駅周辺デザイン計画の策定
- ・中央公園でのPark-PFI事業者の決定
- ・JR西日本と福山駅北口広場の整備などに関する協定を締結
- ・エフピコR i M再生の方針の策定

【まるごと実験都市ふくやまの推進】

- ・実証実験まるごとサポート事業の実施
- ・IoTやAIを活用したオンデマンド乗合タクシーの導入
- ・グリーンスローモビリティの導入



【ばらのまちづくり】

- ・世界バラ会議福山大会基本計画の策定
- ・世界バラ会議福山大会の誘致が日本政府観光局（JNTO）国際会議誘致・開催貢献賞（誘致の部）を受賞

【ばらのまち福山国際音楽祭2019】

- ・リーデンローズ、神辺文化会館、沼隈サンパルを始め、ふくやま美術館、福禅寺対潮楼、商業施設など市内各所でコンサートを実施

【福山城築城400年に向けた取組】

- ・水野勝成ゆかりの地での記念事業
- ・浅野氏広島城入城400年記念事業との連携
- ・福山城の保存整備
- ・福山駅北口（福山城口）・南口（ばら公園口）の愛称決定



【スポーツを核とした地域活性化】

- ・エフピコアリーナふくやま（総合体育館・総合体育館公園）と芦田川かわまち広場（親水広場）のオープン
- ・メキシコオリンピックチームの事前合宿の受入れ



「5つの挑戦」 決算額：約222億円（「3つの備え」の決算額（約139億円）を含む。）

挑戦 1
中心市街地の活性化と都市の魅力向上

(決算額)
343,353千円

挑戦 2
希望の子育て、安心の医療・福祉とまちの活力の創出

(決算額)
2,967,123千円

挑戦 3
まちの成長をけん引する産業づくり・防災

(決算額)
5,009,639千円

挑戦 4
夢・希望あふれる未来を創る人財の育成

(決算額)
6,625,197千円

挑戦 5
文化・スポーツの振興

(決算額)
7,277,230千円

「5つの挑戦」の主な実績

挑戦 1 中心市街地の活性化と都市の魅力向上

担当課：建設局福山駅前再生推進部福山駅前再生推進室
都市部公園緑地課
経済環境局経済部産業振興課（ほか）

中心市街地の活性化（決算額：250,095千円）

働く・住む・にぎわいが一体となった福山駅前の実現に向け、エリア価値を向上させるさまざまなプロジェクトに取り組み、中央公園でのPark-PFIの導入や三之丸町地区の再生など、具体的な動きが見え始めています。

1 福山駅周辺デザイン計画の策定

- ・4つのエリアビジョンの決定
- ・居心地が良く歩きたくなる区域（ウォーカブルエリア）の設定

2 エフピコR i Mの再生

- ・スピード再生や福山の未来を育てる場、段階的な再生などの5つの視点から、当面1階部分を活用した再生を行う方針を策定

3 みんなで創るまちなか公園の検討

- ・中央公園でのPark-PFI事業者の決定
- ・民間主体による三之丸公園の活用の支援

4 エリアマネジメントの推進

- ・エリアプロデュース&マネジメント講座の開催
- ・リノベーションスクール受講生が中心となった、道路や公園、駐車場を活用したにぎわいの日常化に向けた実験の実施

5 備後圏域の玄関口としての再生

- ・三之丸町地区優良建築物等整備事業の推進
- ・JR西日本と福山駅北口広場の整備などに関する協定を締結



【福山駅周辺デザイン計画（4つのエリアビジョンなど）】



【エリアプロデュース
&マネジメント講座】



【道路や公園、駐車場
を活用したにぎわいの創出】



【中央公園Park-PFIイメージ】



【三之丸町地区の
整備イメージ】

挑戦 1 中心市街地の活性化と都市の魅力向上

担当課：市長公室情報発信課
企画財政局企画政策部企画政策課
市民局まちづくり推進部世界バラ会議推進室（ほか）

都市の魅力向上と発信（決算額：69,598千円）

これまで磨き上げてきた地域資源を、さまざまな媒体を活用して全国に発信することで、市内外で福山の魅力や取組の認知度が向上しています。

1 福山の魅力向上

- ・福山ブランドの認定・登録
申請 38件
商品や素材などの認定 9件、活動の登録 1件
- ・ばらのまち福山PR活動
ニコライバークマンプロデュースによる
市民参加型フラワーウォールの制作
- ・世界バラ会議福山大会誘致の取組
世界バラ会議福山大会の誘致が日本政府観光局（JNTO）
国際会議誘致・開催貢献賞（誘致の部）を受賞
世界バラ会議福山大会基本計画の策定
- ・ワーケーションふくやまのモデルケースの構築

2 情報発信力・拡散力の強化

- ・東京2020オリンピック・パラリンピックの取組
内閣官房「優良情報発信賞 SNS賞」の受賞
- ・福山市公式LINEアカウントの開設
- ・福山アンバサダーによる情報発信
総登録者数 654人、総フォロワー数 182万人
- ・SNS広告の実施
リーチ数 2,515,725人
エンゲージメント数 225,951リアクション



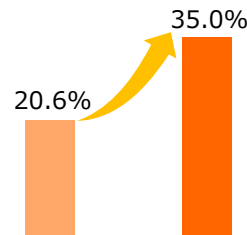
【ワーケーションふくやま】



【福山市公式LINE】

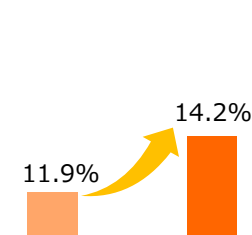
ネウボラ相談窓口
「あのね」（市内）

14.4ポイントUP!



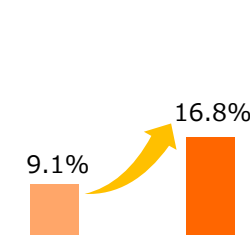
鞆の浦があるまち
（首都圏）

2.3ポイントUP!



日本一のデニム産地
（首都圏）

7.7ポイントUP!



【重点広報テーマの認知度（2017年度→2019年度）】

戦略的な観光振興（決算額：23,660千円）

国内観光客やインバウンドのターゲットを絞った戦略的なプロモーションを始め観光コンテンツの充実により、瀬戸内の観光地としての認知度が向上し、国内外からの誘客につながっています。

1 国内観光プロモーションの推進

- ・ 関西シニア層へのプロモーション
大阪駅などへの観光ポスターの設置 17駅
市営渡船無料クーポンの配布 利用者数 289人
- ・ 短時間で魅了するアタックムービーの制作
- ・ 商品造成を伴った関西圏での観光キャンペーンの実施
ツアー催行本数 6本、ツアー参加者数 198人

2 広域周遊観光の推進

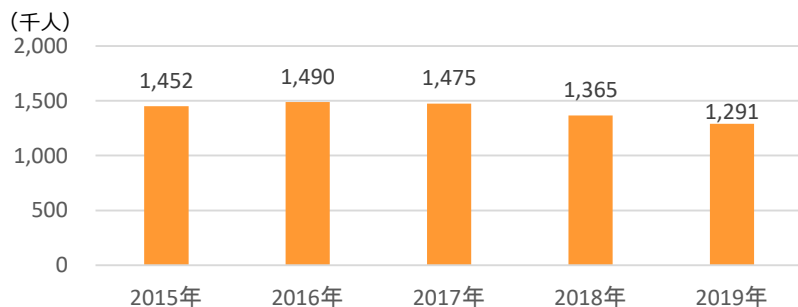
- ・ 鞆の浦しおまち海道サイクリングロードの整備
サイクリングロードの整備延長 12.9km
- ・ 台湾からのインバウンドへの備後圏域遊覧プランなどの発信
台湾の日本観光サイト「ラーチーゴー！日本」への掲載
「Attractive JAPAN」への周遊タクシープランの掲載

3 インバウンド観光の推進

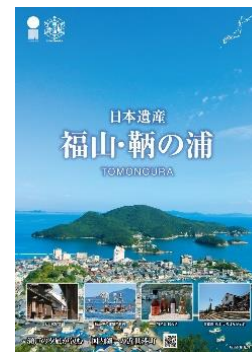
- ・ 阿伏兎香潮亭トイレの多目的機能の整備
- ・ 市営渡船場案内板の多言語化



【アタックムービーの制作】



【市内観光施設の利用者数】



【鞆の浦しおまち海道サイクリングロード】 【観光ポスター】

福山ネウボラが支える希望の子育て（決算額：2,803,129千円）

子育て世帯の経済的負担の軽減や男性の子育て参加の促進など、子育ての負担や不安を軽減し、誰もが希望の子育てができるようサポートすることで、安心して子どもを産み育てられる環境を構築しています。

1 子育て支援の充実・少子化対策

- ・子どもの医療費助成制度の拡充
助成対象を入院・通院ともに中学生まで拡充
- ・ネウボラ相談窓口「あのね」の充実 相談件数 17,912件
「あのね めまくま」の開設（市内13か所目）
あのね手帳を制作し、相談窓口などで活用
- ・風しん抗体検査の実施 827件
- ・子育てパパ活躍ウィークの実施
休暇取得・早めの退社などの促進 参加者数 約750人
親子で参加できるイベントの実施 参加者数 約950人
- ・ファミリー・サポート・センター事業の充実
転入者への利用料金助成の開始
- ・就学前教育・保育施設の再整備
伊勢丘こども園の整備

2 子育てに係る医療支援

- ・臓器移植などを行う小児慢性特定疾病児童などへの支援
交通費・宿泊費の補助事業の創設
- ・こども発達支援センターの運営 利用者数 2,267人
- ・病児・病後児保育の実施 利用者数 1,577人

3 貧困の連鎖の防止

- ・子どもの居場所を兼ねた学習支援 利用者数 13,697人
- ・ひとり親家庭の自立支援 給付件数 63件



【「あのね」での相談】



【夢みるパパとママの会】



【子育てパパ活躍ウィーク】



【伊勢丘こども園】



【あのね手帳】

「健康長寿社会 福山」の実現（決算額：115,862千円）

担当課：保健福祉局保健部健康推進課
長寿社会応援部高齢者支援課（ほか）

地域や関係機関と連携し、未病や予防の段階に応じた健康づくり、身近な場所での介護予防、認知症の人や家族を地域で支える体制づくりなどに取り組むことで、健康寿命が長く、住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めています。

1 生活習慣の改善：未病（1次予防）

- ・食と運動の健康づくりボランティアの育成
スキルアップにつながる研修会 参加者数 5,118人
- ・料理教室や運動教室などの地域活動の実施
参加者数 46,238人
- ・いきいき百歳体操の実施か所の拡大
新規実施か所数 32か所（累計135か所）、参加者数 94,873人
- ・明治安田生命保険相互会社、(株)ファーマシィと
健康増進に関する連携協定を締結
- ・身近な支援者となるゲートキーパーの養成
新規養成者数 817人（累計5,913人）
- ・ひきこもり相談窓口「ふきのとう」の設置

2 疾病の早期発見・治療（2次予防）

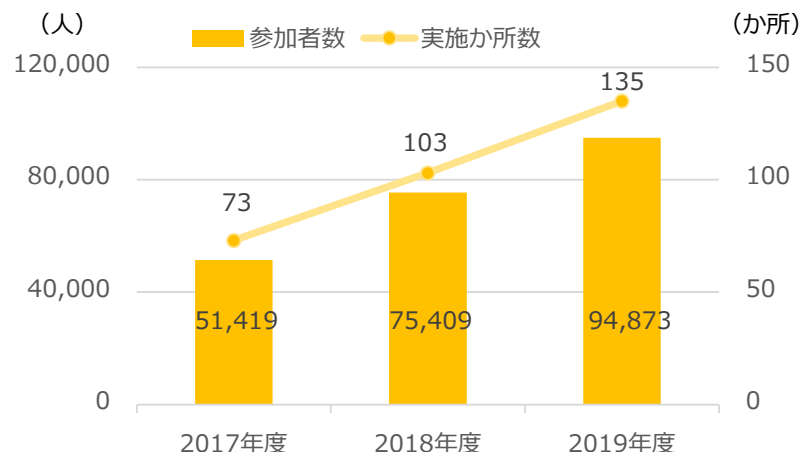
- ・AI分析で心理特性を4つに分類した特定健康診査の受診勧奨
2月受診者数 857人（前年同月比77人増）

3 重症化の予防（3次予防）

- ・糖尿病性腎症重症化予防保健指導プログラムの実施
終了者数 30人

4 地域で安心して暮らすための認知症施策の充実

- ・認知症カフェの開設 開設数 28か所、利用者数 5,956人
- ・認知症ガイドブックを制作し、地域包括支援センターなどで配布
- ・認知症サポーター養成講座の実施
新規養成者数 2,041人（累計31,365人）
- ・市内警察署と認知症高齢者などの支援に関する連携協定を締結



【いきいき百歳体操の参加者数・実施か所】

生活習慣病は
通院と薬の服用が長く続く
治りにくい病気です。



特定健診で分かる 生活習慣病	特定健診は約1時間※で 終わります。										
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>高血圧症</td><td>アルコール性肝臓病</td></tr> <tr><td>動脈硬化</td><td>腎不全</td></tr> <tr><td>脂質異常症</td><td>痛風</td></tr> <tr><td>糖尿病</td><td>など</td></tr> <tr><td>肝硬変</td><td></td></tr> </table>	高血圧症	アルコール性肝臓病	動脈硬化	腎不全	脂質異常症	痛風	糖尿病	など	肝硬変		※実施内容は、資料に於ける情報の取捨選択を なしております。あらかじめご了承ください。
高血圧症	アルコール性肝臓病										
動脈硬化	腎不全										
脂質異常症	痛風										
糖尿病	など										
肝硬変											

無料で!

個人で受ければ
10,000円はかかる検査を

<検査内容>
 血液検査 血圧測定 尿検査 身体測定 心電図 問診

※面倒くさがり屋さん用

若者や女性が輝く都市づくり（決算額：32,599千円）

地元企業との交流促進やものづくり現場の魅力発信、多様な働き方や子育てのしやすさなどの就労環境の整備によって、若者の職業観の醸成や地元就職の促進、女性の更なる活躍につながっています。

1 若者の地元就職支援

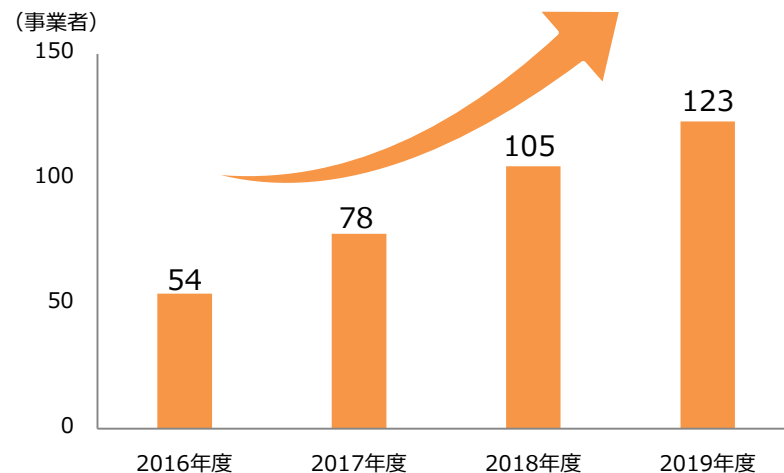
- ・市外大学に通う学生と備後圏域企業の交流会（企業研究会）の開催
（広島）参加企業数 53社、参加学生数 46人
（大阪）参加企業数 53社、参加学生数 55人
（東京）参加企業数 23社、参加学生数 13人
- ・市外大学への通学費支援 41件
- ・市内企業への就職応援事業（交通費補助） 25件
- ・Webサイトを活用したのものづくり現場の魅力発信
掲載企業数 12社
- ・広島県ナースセンター・サテライト福山の開設（県事業）
- ・就活サイトを活用した社長から就活生に向けた
応援メッセージの発信（社長の声プロジェクト）
掲載企業数 18社

2 女性の活躍促進

- ・ふくやまワーク・ライフ・バランス認定
新規認定事業者数 22事業者
- ・男女共同参画推進事業者表彰
表彰企業数 2事業者
- ・市内企業への就職応援事業（引っ越し費用補助） 4件
- ・女性の働く環境改善（改修工事費用補助など） 5件



【Webサイトを活用したのものづくり現場の魅力発信】



【ふくやまワーク・ライフ・バランス認定総事業者数】

障がい者の社会参加支援（決算額：15,533千円）

働く場を増やす取組や安心して働き続けられる環境の整備など、経済的自立に向けた支援を行うことで、障がいのある人の社会参加につながっています。

1 障がい者雇用の推進

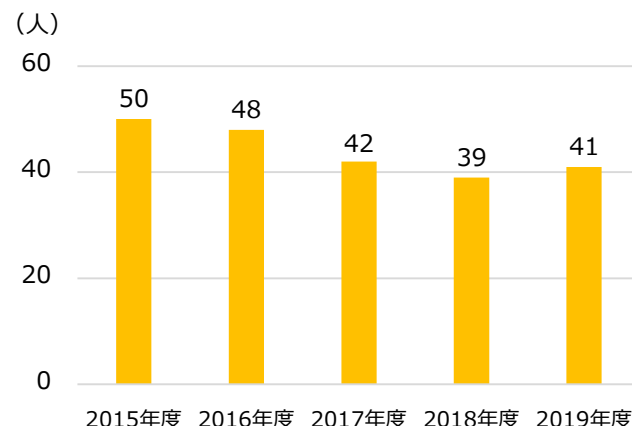
- ・障がい者雇用促進セミナーの開催
参加数 46事業所、91人
- ・障がい者雇用奨励金の交付
交付件数 42件

2 障がい者が働きやすい環境の充実

- ・事業所に対する巡回指導・相談
障がい福祉サービス指導員の巡回による、
生産活動と就労支援活動についての助言・指導
実施数 66事業所
- ・専門家による経営改善の指導
中小企業診断士などの専門家による、
経営内容や個別処遇に踏み込んだ審査・調査の実施
実施数 40事業所
- ・事業所の質の向上に資する研修会の開催
参加数 10事業所、12人
- ・農福連携の推進
JA福山市の「食と農の交流館」を活用した、
農業者対象の障がい者理解に関する研修や、
障がい者と就労系事業所対象の栽培技術研修の実施
実施回数 6回、参加事業所数 27事業所



【障がい者雇用促進セミナー】



【福祉施設から一般就労への移行人数】

地域経済の活性化（決算額：222,671千円）

人材育成や中小企業支援により、ものづくり技術の継承や売上向上などにつながっています。また、福山北産業団地第2期事業の推進や先端技術を活用した実証実験の支援など、経済活動の活性化に向けた産業基盤の整備も進めています。

1 地域を支える産業の活力創造

- ・ものづくり大学による人材育成（技術の学びなおしなど）
受講者数 577人
- ・福山ビジネスサポートセンターFuku-Bizによる相談・創業支援
相談件数 2,486件、売上向上率 68.5%、創業件数 13件
- ・備中備後ジャパンデニムプロジェクト
事業者の認知度向上や製品のPR・販売を目的とした、
ポップアップストアの開催
東京のマーケットイベント「丸の市」 参加企業数 6社
イタリアのセレクトショップ「テノハミラノ」 参加企業数 7社
デニム関連企業MAPのリニューアル
掲載企業数 87社
- ・繊維産業の担い手育成に向けた縫製スクールの実施
実施回数 3回、参加者数 21人

2 高度人材の育成

- ・グローバル人材育成事業の実施（備後圏域4大学連携）
参加者数（大学生・社会人） 講義 55人、海外研修 22人
- ・プロフェッショナル人材の活用
戦略推進マネージャーの活用による事業構築 5事業
MICE誘致ディレクターの委嘱

3 企業誘致の促進

- ・福山北産業団地第2期事業の推進
用地交渉、実施設計、企業訪問、PRパンフレットの制作

4 まるごと実験都市ふくやまの推進

- ・市内における各種実証実験の実施 7件



【「テノハミラノ」への出品】



【指静脈認証を活用した
キャッシュレス決済の実証実験】

農林水産業の活性化（決算額：8,293千円）

担当課：経済環境局経済部農林水産課
地産地消推進課

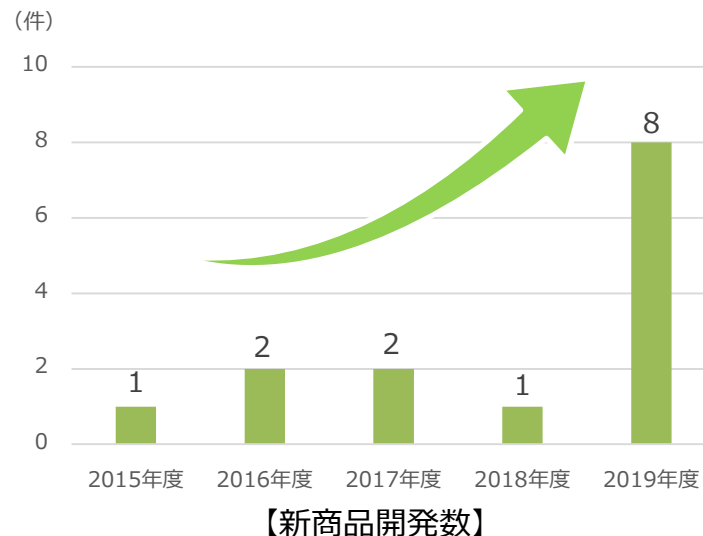
民間事業者や関係団体などと連携した取組により6次産業化が促進され、新商品の開発や農林水産物の魅力向上につながっています。

1 6次産業化の推進

- ・首都圏への販路開拓支援（商談会やびんごフェアの開催など）
マッチング件数 12件
- ・新商品開発支援（びんご6次産業化アドバイザーの派遣など）
新商品開発数 8件
- ・備後圏域ワインプロジェクト
備後ワインクラブ 参加者数 30人
備後ワインフェス 来場者数 約6,000人
（備後フィッシュフェスと共催）

2 水産物ブランド化の推進

- ・備後フィッシュフェス 来場者数 約6,000人
（備後ワインフェスと共催）
- ・「備後フィッシュの食べられる店」第2回認定
認定店舗数 24店舗（累計認定店舗数 72店舗）
- ・第2回備後フィッシュグルメキャンペーンの実施
参加店舗数 18店舗、応募者数 747人



【備後フィッシュフェス】



【備後ワインクラブ】



【首都圏の販路開拓に向けた商談会】

防災対策の推進 (決算額：4,778,675千円)

自治会や自主防災組織、国、県などとの連携を強化し、迅速な避難行動の促進や抜本的な浸水対策の実施、ため池の安全対策の強化などに取り組むことで、頻発する自然災害への備えを強化しています。

1 地域防災力の強化 (ソフト)

- ・避難情報の伝達などの強化
自治会や自主防災組織などと連携した災害対応の検証
今後の改善策の全学区への共有
- ・国、県、事業者、地域などと連携した総合防災訓練の実施
- ・地域防災をけん引するリーダーの育成
防災士資格取得者数 (備後圏域) 71人 (累計408人)
防災リーダー登録者数 58人 (累計335人)
- ・民間企業などとの災害時応援協定の締結 2件 (累計89件)
- ・災害情報電話通報サービスの提供開始
登録者数 1,376人
- ・防災に関する地域との意見交換会の開催
参加者数 458人

2 災害に強いまちづくり (ハード)

- ・継続的な浸水対策の実施
排水機・水路・土砂撤去など 37か所
雨水貯留施設整備 1か所
内水排除対策検討 2か所
- ・学校施設の耐震化
耐震化率 91.7%→95.2%
(2018年度) (2019年度)
小学校 8校、中学校 4校
- ・ため池の耐震化
完了 2か所、着手 2か所



【総合防災訓練の実施】



【雨水貯留施設の工事着手 (東深津町)】



【ため池の耐震化 (大池)】

未来を創造する教育（決算額：6,613,889千円）

「子ども主体の学び」に向けた教職員研修・授業実践などの取組や、子どもの学びを支える学校施設の環境整備などにより、確かな学力と豊かな心を育て、「学びが面白い」と実感する子どもたちの増加につながっています。

1 福山100NEN教育の推進

- ・小学校「学びづくりフロンティア校」事業
教科や学年の枠を越えたカリキュラムの編成・実施・評価による教育の質の向上
- ・中学校「教科の専門性パワーアップ」事業
総合的な学習の時間での探究学習プログラムの実施
- ・「学力の伸びを把握する調査」事業
学力向上アドバイザーを招いた調査結果の活用に関する研修の実施
- ・「学びを拓く学校図書館」充実プラン
児童・生徒の読書活動推進のため、新たに15校の学校図書館を整備

2 学校教育環境の整備

- ・ICT教育機器整備（小学校5・6年生教室ほか） 整備率 35.4%
- ・中学校給食を新たに7校で開始 実施率 80.0%（28校／35校）
- ・小中学校の全ての普通教室と一部の特別教室に空調設備を整備

3 市内大学の人材育成力の充実・強化

- ・官民協働による福山版「海外留学支援制度」 派遣留学生 10人
- ・京都大学や民間企業との連携による人口減少対策の共同研究



【「学びを拓く学校図書館」充実プラン】
（思い思いに本を読む児童）



【官民協働海外留学支援制度】



【小中学校への空調設備整備】

【中学校給食の実施率】

挑戦4 夢・希望あふれる未来を創る人財の育成

担当課：市民局まちづくり推進部まちづくり総務課
協働のまちづくり課
青少年・女性活躍推進課 ほか

未来づくりへのチャレンジ（決算額：11,308千円）

次代を担う子どもたちの「未来を創る力」を育む取組や、地域住民・事業者・外部人材の連携による持続可能な地域コミュニティの再構築に向けた取組などを通じて、多様な世代や主体による地域づくりが進んでいます。

1 若者のチャレンジの応援

- ・子ども議会・高校生議会の開催 参加児童・生徒数 61人
- ・中学生の夢へのチャレンジを応援する「夢・未来プロジェクト」
応募件数 561件、夢の実現に向けた支援 7件

2 未来づくりに向けた協働

- ・有識者会議提案書に基づく実証事業の実施
持続可能な地域コミュニティ形成モデル事業 2学区
地域づくり講演会 開催 2回、参加者数 281人
地域づくり塾 開催 3回、参加者数 242人
- ・地域コミュニティのあり方検討委員会（各種団体などで構成）
市へ「人口減少時代の地域コミュニティのあり方報告書」を提出
- ・未来づくりミーティング「福山未来共創塾」の開催
福山の未来図の実現に向けたプロジェクトの創出 12件
- ・学校再編後の地域づくり（服部地域・東村地域）
地域活性化に向けた小学校跡地利活用等協議会の実施 など



【持続可能な地域コミュニティ形成モデル事業】
（左：曙学区、右：新市学区）



【地域づくり講演会】



【夢・未来プロジェクト】
（脳神経外科医になりたい）



【福山未来共創塾】



【地域づくり塾】

歴史・文化・芸術の薫る都市づくり (決算額：421,113千円)

担当課：経済環境局文化観光振興部
文化振興課
建設局都市部公園緑地課 (ほか)

福山城を始め水野勝成ゆかりの地での記念事業などを通じて、2022年の福山城築城400年への機運が高まっています。また、音楽祭の開催などにより、芸術文化活動の拠点としての魅力向上にもつながっています。

1 入封400年・福山城築城400年に向けた取組

- 入封400年プロジェクト
水野勝成ゆかりの地（福山城・鞆・神辺・新市・沼隈・内海）での記念事業の実施
参加者数 約21,000人
水野勝成入封400年特別展、企画展などの開催
来場者数 約61,000人
- 福山城築城400年に向けた取組
浅野氏広島城入城400年記念事業との連携事業の実施
来場者数 約8,000人
福山城夜間景観照明（ライトアップ）の整備
伏見櫓、湯殿、月見櫓、狭間
福山城の保存整備
福山城天守等耐震改修・外観復元設計
福山城博物館展示リニューアル設計 など
福山駅北口・南口の愛称決定
北口「福山城口」、南口「ばら公園口」



【備後入封400年祭】



【福山城天守等耐震改修・外観復元設計イメージ】



2 歴史文化資源の価値向上・芸術文化活動の充実

- ばらのまち福山国際音楽祭2019の開催
入場者数 約16,000人
- 第12回 島田荘司選
ばらのまち福山ミステリー文学新人賞
応募作品数 86点
- 廉塾の保存整備 発掘調査
- 神辺本陣の保存整備 文献調査



【ばらのまち福山国際音楽祭2019】

鞆のまちづくり（決算額：112,589千円）

鞆まちづくりビジョンの実現に向け、日本遺産や重要伝統的建造物群保存地区など、歴史・文化を生かしたまちづくりを始め、公共交通としてのグリーンスローモビリティの導入など、鞆地区の再生・活性化が進んでいます。

1 歴史・文化の継承

- ・重要伝統的建造物群保存地区内の修理・修景などに対する補助 8件
- ・鞆まちなみ保存会の活動支援
- ・鞆町伝統的建造物群保存地区防災計画の策定に向けた課題抽出
- ・寄附を通じて鞆のまちづくりを応援する「鞆・一口町方衆」応援プロジェクト（県事業）
支援金額 約1,300万円、支援者数 121人、
支援企業・団体数 25企業・団体

2 にぎわいの創出

- ・日本遺産鞆の浦の魅力発信
日本遺産に登録されたストーリーを紹介するとともに、そこに暮らす人々の美しい日常を国内外に発信するメディア「VISIT鞆の浦」の開設 閲覧数 18,278回
鞆の浦しお待ちガイドの養成 51人
- ・ユネスコ「世界の記憶」関連の巡回パネル展の開催 3回
- ・地元住民と観光客が集う「（仮称）鞆町町並み保存拠点施設」の実施設計

3 安心・安全の確保と利便性の向上

- ・グリーンスローモビリティ（グリスロ潮待ちタクシー・グリスロバス）の本格運行開始
緑ナンバーとしての運行は全国初



【VISIT鞆の浦】



【鞆の浦しお待ちガイド】

スポーツを核とした地域活性化（決算額：6,743,528千円）

エフピコアリーナふくやま（総合体育館・総合体育館公園）と芦田川かわまち広場（親水広場）の整備や、オリンピック関連イベントの開催、スポーツ事業の創出などを通じて、スポーツを楽しむ習慣やスポーツによるにぎわいが広がっています。

1 スポーツ施設の拠点機能の強化

- ・拠点施設の整備
エフピコアリーナふくやま・芦田川かわまち広場の整備完了
福山市スポーツ施設再編方針（庭球場・水泳場）の策定

2 スポーツで活力ある福山の実現

- ・エフピコアリーナふくやまなどを活用したにぎわいの創出
プレオープンイベント「Vリーグ男子ファイナルステージ」の開催
- ・誰もがスポーツを楽しめる機会の創出
ふくやまスポーツアカデミー 参加者数 31人
スポーツ事業スタートアップ支援 2件
- ・オリンピックムーブメントによるスポーツ機運の醸成
メキシコオリンピックチーム5競技の事前合宿 交流者数 8,409人
JOCとの連携によるオリンピック教室 開催 3校、参加者数 258人



【Vリーグ男子ファイナルステージ】



【エフピコアリーナふくやま・芦田川かわまち広場の整備】



【メキシコオリンピックチームの事前合宿】

参考

連携中枢都市圏構想（決算額：696,545千円）

産学金官民の連携のもと、単独自治体では実施が難しい事業の実現や地域資源の磨き上げなどに取り組み、圏域全体の成長に向けた基盤を強化しています。

1 圏域全体の経済成長のけん引

- ・備中備後ジャパンデニムプロジェクト
東京のマーケットイベント「丸の市」 参加企業数 6社
イタリアのセレクトショップ「テノハミラノ」 参加企業数 7社
- ・地域経済循環促進策の検討
備後圏域の経済循環構造の分析、施策の方向性の検討
- ・地元企業と大学生の交流促進事業（福山商工会議所事業）
福山市立大学・福山大学・福山平成大学の学食を利用した、
企業と大学生の交流の促進
開催回数 9回、参加企業数 33社、参加学生数 114人
- ・企業の採用力強化に向けた人材確保に関する研修会の開催
参加企業数 112社

2 高次の都市機能の集積・強化

- ・医療スタッフ確保策の検討
医師不足の解決に向けた研究
- ・看護職の再就職支援の強化（県事業）
広島県ナースセンター・サテライト福山の開設
再就職者数 143人

3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

- ・医療通訳ボランティアの養成（公益財団法人ひろしま国際センター事業）
研修会の開催 4回、受講者数 115人
- ・次期ごみ処理施設整備に係る広域処理の検討
福山市・府中市・神石高原町で一般廃棄物の処理に関する基本協定
を締結
- ・スポーツを通じた交流の促進（三井住友海上火災保険㈱との連携）
笠岡市の障がい者スポーツ大会でのパラアスリートとの交流



【地元企業と大学生の交流促進事業】



【パラアスリートとの交流】

「5つの挑戦」の軌跡

ふくやま
未来づくり
ビジョン
2019

- 子ども医療費助成制度の助成対象を中学生まで拡充
- 福山市域における浸水対策とりまとめの公表
- 鞆地区でグリーンスローモビリティによるタクシー事業（乗用運行）の開始
- 施行者による三之丸町地区の再生に向けた事業計画概要の発表
- みんなのライフスタイル応援会議の開催（～7月）
- メキシコオリンピックチームの事前合宿（～9月）
- 災害情報電話通報サービスの提供開始
- MICE誘致ディレクターの委嘱
- 防災重点ため池（1,110か所）の再選定
- 広島県ナースセンター・サテライト福山の開設
- JR西日本と福山駅北口広場の整備などに関する協定を締結
- 福山駅前アクション会議の開催（～12月）
- 中央公園で電動キックボードの実証実験の実施
- ふくやまスポーツアカデミーの開催（～2月）
- 国・県・関係機関などと連携した芦田川水害タイムラインの完成
- ワーケーションふくやまのモデルケースの構築（～3月）
- 「福山市手城川流域における床上浸水被害解消プラン」の「100mm/h安心プラン」への登録
- 初代藩主水野勝成入封400年記念 備後入封400年祭の開催
- 持続可能な地域コミュニティ形成モデル事業（曙学区・新市学区）の開始

全国初！

中国地方初！



【MICE誘致ディレクターの委嘱】



【電動キックボードの実証実験】

4月



6月

7月



9月

○オンデマンド乗合タクシーの運行開始

・服部地区（10月）、緑陽地区（11月）

○ばらのまち福山国際音楽祭2019の開催

○子育てパパ活躍ウィークの実施

・応援企業・団体による従業員の子育て参加のための休暇取得や早めの退社の促進
・協力企業・団体による親子で楽しめるイベントの開催

○全市一斉総合防災訓練の実施

○明治安田生命保険相互会社と健康増進に関する連携協定を締結

○福山城夜間景観照明（ライトアップ）の整備（～3月）

○ネウボラ相談窓口「あのね ぬまくま」の開設

市内13か所目

○子育て応援フリーマガジン「びんまる」と子育て応援に関する連携協定を締結

○エフピコアリーナふくやま（総合体育館）プレオープンイベント
「Vリーグ男子ファイナルステージ」の開催

○世界バラ会議福山大会の誘致が

日本政府観光局（JNTO）国際会議誘致・開催貢献賞（誘致の部）を受賞

○市内警察署と認知症高齢者などの支援に関する連携協定を締結

○日本遺産鞆の浦のPR動画「TOMONOURA JAPAN HERITAGE」が
日本国際観光映像祭のTourism Products部門でベストフィルムを受賞

○(株)ファーマシィと健康増進に関する連携協定を締結

○エフピコアリーナふくやま（総合体育館・総合体育館公園）と
芦田川かわまち広場（親水広場）のオープン

○グリーンスローモビリティによるバス事業（乗合運行）の開始
・鞆地区（3月）、福山城（3月）

○中期戦略の策定

・福山市ネウボラ事業計画
・ふくやまICT戦略
・世界バラ会議福山大会基本計画
・福山駅周辺デザイン計画
・福山市MICE戦略



【子育てパパ活躍ウィーク】
（親子プログラミング体験）



【福山城のライトアップ整備】



【世界バラ会議福山大会誘致の受賞】